

弊社の製品「ケルセチン透明石鹸」が

 **神戸新聞** に掲載されました。

2012年5月21日（月）朝刊

2012年(平成24年)5月21日 月曜日

くらし 18

医薬品開発支援のインク  
リース研究所（東京）が、  
従来は捨てられていたタマ  
ネギの外皮から、金沢和樹  
・神戸大学院農学研究所  
教授の開発による製法で抽  
出した「ケルセチン組成物」  
を活用し、化粧せっけんや  
ローションを製造・販売し  
ている。同社は、神戸市が  
医療産業都市構想を進める  
ポトアイランド2期（中  
央区港島南町）に拠点を置  
き、地元研究者の成果を事  
業化した。

同社によると、ケルセチ  
ンは、赤ワインなどに含ま  
れる色素成分フラボノイド  
の一種。タマネギの外皮は  
その中身を守る成分が凝縮

## タマネギの皮をせっけんに

### 神大教授の研究成果を事業化▶▶



タマネギ外皮の成分を使ったせっけん

#### 神戸進出の医薬品開発支援企業

され、抗酸化や抗アレルギー、抗菌、紫外線防御といった作用があるという。外皮という廃棄物を有効利用する側面もある。

同社は2008年、医療

産業都市構想の中核施設、神戸健康産業開発センター内に神戸事業所を開設。製品開発や販路開拓には、近くの先端医療振興財団が協力した。

ケルセチンを使ったせっけんは09年、ミルクローションは10年、それぞれ販売開始。タマネギの外皮と同様、茶色っぽいのが特徴で、調剤薬局やエステティックサロン、インターネットなどで販売中。肌が弱く、他の化粧品が合わない人の利用が多いという。

同社の春名一夫社長(66)は「まず多くの人にケルセチンの良さを知ってもらうため、化粧品という形で商品化を始めた」と説明。今後、歯を磨くことが難しくなった要介護者を対象に、抗菌作用を生かした口内で溶けるフィルムの開発など、幅広い分野での商品化を目指す。

同社神戸事業所 ☎078  
・977・7901  
(金井恒幸)

お問い合わせ先:株式会社インクリース研究所 Tel:078-977-7901